

## 第 11 回理事会

平成 25 年 9 月 5 日(木) 午後 5 時～午後 7 時 45 分

小田会長、吉本・濱本副会長、河村専務理事、弘山・萬・田中・山縣・林常任理事、沖中・加藤・藤本・香田・今村・中村・清水理事、山本・武内・藤野監事

### 協議事項

#### 1 理事会の運営について

新公益法人制度移行に伴い「理事会運営規程」を制定し、内容について協議した。また、理事会のペーパーレス化及び活性化についても協議した。

#### 2 会員に対する災害見舞いについて

会員の災害見舞いについては、平成 23 年度までは医師互助会の事業として互助会加入会員に対して見舞金の支給をしていたが、新公益法人制度移行に伴い互助会事業を廃止した。7 月 28 日の集中豪雨により被害が甚大な会員があることから、災害見舞金の交付基準を決め、見舞金を交付することを決定した。

なお、この度の山口・萩地域を襲った大雨・洪水被害に対し、九州医師会連合会から見舞金及び各県医師会から見舞電報が寄せられた。この見舞金については、甚大な被害を被った萩市医師会に交付することを決定した。

#### 3 平成 26 年度施策・予算に関する要望項目について

10 月中旬に山口県知事、自民党政調会へ要望の予定であり、要望項目について協議した。

#### 4 外国債償還後の資金運用について

財政調整積立金の外国債が期限前償還条項を充たし、全額償還される見込みのため、今後の資金運用について協議した。

#### 5 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく指定地方公共機関の指定について

「新型インフルエンザ等対策特別措置法」が平成 24 年 5 月に公布、平成 25 年 4 月に施行されたことに伴い、山口県健康福祉部長より、本会を「指定地方公共機関」に指定することへの依頼があり、協議のうえ承諾することとした。指定地方公共機関は、平成 25 年度末までに業務計画を作成し、県に報告することになる。

## 6 在宅医療の研修会の開催について

日本医師会より生涯教育の一環として、都道府県医師会及び地域医師会で核となる在宅医療のリーダーを育成することを目的とした研修会の開催要請があったことについて協議し、平成 26 年 1 月 12 日に開催すること及び当日の講師 3 名を決定した。

## 7 第 1 回山口睡眠時無呼吸症候群(SAS)研究会学術講演会の後援について

山口睡眠時無呼吸症候群(SAS)研究会(代表世話人：土屋 智)より、学術講演会に対する名義後援依頼があり、了承した。

## 報告事項

1 第 4 次福祉の輪づくり運動推進県域活動計画平成 24 年度事業報告会《県社協職場内研修(第 3 回)》(8 月 19 日)

運営適正化委員として第 1 分科会に参加した。(今村)

2 山口呼吸器フェローシップセミナー世話人会 (8 月 21 日)

第 4 回研修会の反省点及び次回研修会の内容等について協議した。(萬)

3 医事案件調査専門委員会 (8 月 22 日)

病院 2 件、診療所 1 件の事案について審議を行った。(林)

4 在宅医療推進事業に係る意見交換会 (8 月 22 日)

多職種等の関係者と県民が意見交換等を行い、相互の理解を深める場を提供するため、山口県が在宅医療推進フォーラム(在宅医療普及啓発事業)実施に向けた在宅医療 WG 委員との意見交換が行われた。(弘山)

5 平成 25 年度生涯現役社会産学公推進協議会総会 (8 月 23 日)

平成 24 年度事業報告、平成 25 年度事業計画が承認された。「ねんりんピックおいでませ！山口 2015」(H27. 10. 17～20 開催)の概要説明があった。(事務局長)

6 勤務医部会第 2 回企画委員会 (8 月 24 日)

10 月 5 日開催の座談会及び平成 26 年 2 月 16 日開催のシンポジウムの内容等について協議した。(中村)

7 一般社団法人山口県臨床検査技師会創立 60 周年・一般社団法人化記念式典  
(8 月 24 日)

祝辞を述べた。(小田)

8 第 5 回臨床研修医交流会 (8 月 24・25 日)

1 日目は、山口県医師臨床研修推進センターの事業紹介、「やまぐち明るい研修計画」をテーマにグループワーク、懇親会を開催した。2 日目は、後期研修医による進路紹介、聖路加国際病院血液内科部長の岡田 定先生の特別講演「臨床研修の的を射る」、グループワークのベストプレゼンテーションの発表が行われた。(中村)

9 第 44 回中四九地区医師会看護学校協議会 (8 月 24・25 日)

八幡医師会看護専門学院の引受けで開催。「医師会看護学校—その使命とは—」をテーマに協議・研修等が行われた。出席者約 400 名。(今村)

10 平成 25 年度中国四国学校保健担当理事連絡会議・平成 25 年度中国地区学校保健・学校医大会 (8 月 25 日)

島根県担当で松江市にて開催。午前中、中国四国各県から 10 議題と日医への要望 4 題が提出された。本県からは、「いじめ問題に対する学校医の役割について」を提出し、協議した。午後の中国地区学校保健・学校医大会では、研究発表 4 題と特別講演 2 題が行われ、研究発表では、「学校医教育システムの構築」について、徳山医師会学校医部会部会長の谷村 聡先生が徳山医師会学校医部会の取り組みを発表された。(山縣、沖中)

11 山口県警察官友の会理事会・総会 (8 月 28 日)

平成 24 年度事業報告・収支決算報告、平成 25 年度事業計画(案)・収支予算(案)、役員改選(案)が審議、承認された。総会終了後、サイバー犯罪についての講演が行われた。(小田、事務局長)

12 社保・国保審査委員合同協議会 (8 月 29 日)

協議題 3 題、会員からの意見要望 44 項目について協議を行った。協議結果は本会報 (ブルーページ) に掲載。(萬)

13 山口県緩和ケア医師研修会連絡会議 (8 月 29 日)

山口県より、緩和ケア研修会の実施状況の報告が行われ、その後、9 月 15・16 日開催の緩和ケア医師研修会の進行について協議した。(弘山)

14 山口県自殺対策連絡協議会（8月29日）

山口県自殺総合対策計画(改定版)(案)について協議した。(田中)

15 第25回全国医師会共同利用施設総会(8月31日～9月1日)

神奈川県医師会担当で、「地域包括ケアシステムと医師会共同利用施設の在り方一切れ目のない医療・介護の地域完結を目指して―」をメインテーマとして開催された。

日本医師会横倉義武会長の「日本医師会の直面する課題」と題した特別講演や医師会病院関係、検査・健診センター関係及び介護保険関連施設関係の3つの分科会でシンポジウムが行われ、それぞれ4施設から現状報告や今後の課題等の発表があった。(田中、香田)

16 山口県医師会健康スポーツ医学研修会・山口県医師会スポーツ医部会総会・山口県医師会健康スポーツ医学実地研修会（9月1日）

研修会では、特別講演1「やまぐちスポーツ医・科学サポートセンターの現状と役割」公益財団法人山口県体育協会、特別講演2「スポーツ活動における食事(栄養)の意義―運動するからだに食事の力を活かす―」河合伸也先生と管理栄養士、特別講演3「女性を対象にした更年期からの健康づくり～骨粗鬆症による骨折防止のための地域啓発活動～」NPO法人HAP理事長・宮原富士子氏、特別講演4「ロコモ対策：美しく立つ」帝京平成大学の渡會公治先生の講演と実地研修のストレッチが行われた。スポーツ医部会総会は、平成24年度事業報告及び25年度事業計画について説明、承認された。出席者55名。(沖中)

17 第2回がん検診受診促進検討会議（9月4日）

がん検診の受診動向把握のため、受診調査や県民調査の実施、受診勧奨モデル事業の実施について協議した。(加藤)

18 広報委員会（9月5日）

会報主要記事掲載予定(10～12月号)、炉辺談話、県民公開講座及びフォトコンテストの応募状況、tys「スパ特」のテーマ、歳末放談会のテーマ等について協議した。炉辺談話については、投稿規程の見直しを行った。(林)

19 会員の入退会異動

入会15件、退会6件、異動11件。(9月1日現在会員数：1号1,304名、2号933名、3号447名、合計2,684名)